

デザインセンスの磨き方

最初からうまかったか？

小山
最初デザインのクオリティが低いとストレートに言われたことがある
今は8年間リピートしてくれる人も

生徒さん
最初イマイチだった人でもコンペ勝ち抜いたり自走できるように
例えば、
53歳の生徒さんがクラウドソーシングで自力で月12万円の収入獲得
40代の方が30人くらい参加のコンペ勝ち抜いたり
20代の方が50人くらい参加のコンペ勝ち抜いたり

センスを磨くには？

原理原則がまず大事
知っているけど出来てない、落とし込めてないことが多い
センスを磨く前にまずこれ
基礎が出来てないと
迷った時に戻るところがない
応用が効かない

センスの磨き方がある

原理原則とは？

- 色の使い方
- レイアウトの仕方
- 余白の使い方
- こういった素材を選べば良いか？
- 文字の大きさをどうするか？

どんなフォントを使えば良いか？

- 文字の形
 - ゴシック体
 - 明朝体
 - デザイン書体

一番早い

- 実践で使うスキルを身につける、デザインツール
- 原理原則学ぶ
- 実績のある人にフィードバックをもらう
- なぜクオリティがあがらないのか？どこを直せばクオリティが上がるのか？わからずに諦めていく人が多い

センスの伸ばし方

インプット量に比例する

- 雑誌
- WEBサイト
- サムネイル
- バナー

アプトプット

- 実際に自分で作ってみる
- 客観的に見てもらう
- 上手い人からフィードバック
- 仕事にするなら人からの評価が大事なのでこれはとても大事
- 目から鱗なことが多い
- 2日悩んでたことが10分で解決
- 着目点、視点が違う
- 基準値が違う
- なんでもそう

センスが良い人の視点を取り入れることが大事